

平成24年度病虫害発生予察予報第7号(10月)

平成24年10月5日

高知県病虫害防除所

《予報の概要》

作物名	病虫害名	予想発生量
カンキツ	そうか病	並
	黒点病	やや多
	かいよう病	並
	ミカンハダニ	やや多
	カメムシ類	少
施設野菜類 (ナス、ピーマン、キュウ リ、トマトなど)	ウイルス病	並
	ハスモンヨトウ	並
	タバコガ類	並
	アブラムシ類	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多
	タバココナジラミ	やや多
	ホコリダニ類	やや多

I 気象予報(高松地方気象台 平成24年9月28日発表)

<予想される向こう1か月の天候> 9月29日から10月28日

天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

向こう1か月の降水量は、多い確率 50%です。

週別の気温は、1週目は、平年並または高い確率ともに40%です。

<確率>

(単位:%)

期 間	要 素	予報対象地 域	低 い (少ない)	平 年 並	高 い (多い)
1ヶ月	気 温	四国地方	30	30	40
	降 水 量		20	30	50
	日照時間		40	30	30
1週目	気 温	四国地方	20	40	40
2週目			20	40	30
3～4週目			30	40	30

<予報の対象期間>

1ヶ月 : 9月29日(土) ～ 10月 28日(日)

1週目 : 9月29日(土) ～ 10月 5日(金)

2週目 : 10月 6日(土) ～ 10月 12日(金)

3～4週目: 10月 13日(土) ～ 10月 26日(金)

II 病虫害発生予想

1. カンキツの病虫害

1) 黒点病

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

(1) 9月の巡回調査では、県東部と中西部の中晩柑類で発生がやや多かった。

(2) 向こう1か月の気象予報では気温は平年並～高い見込み、降水量は平年並～やや多い見込みで、今後も平年並～やや多発生で推移すると思われる。

対 策

(1) 10月になると夏秋梢の発生はなくなるので、仕上げ摘果と同時に、枯枝の除去に努める。

(2) 本病は降雨があると11月まで病勢が進展するので、降雨が連続する場合は薬剤散布を行うが、その際は、県病虫害防除指針に基づき使用時期に注意するとともに、周辺作物への飛散防止に努める。

2) ミカンハダニ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

(1) 9月の巡回調査では、温州みかんは平年並であった。中晩柑類では県東部と中西部でやや多く、中央部は平年より少なく、西部は平年並であった。

- (2) 向こう1か月の気象予報から、やや温度が高い状態が続くと予想され、現状あるいはやや増加傾向で推移するものと思われる。

対 策

- (1) 秋ダニ(9月以降に発生するダニ)は増殖が速いことから、寄生葉率30～40%を目安にして、それを越えたとすぐに防除を行う。その際は、県病虫害防除指針に基づき薬剤を選定し、使用時期や周辺作物への飛散に注意しながら、かけムラのないように散布する。

3) カメムシ類

予 想 発生時期:並 / 発生量:少

根 拠

- (1)9月の巡回調査では見られず、フェロモントラップ調査もいずれの調査地点とも誘殺数は少ない。

対 策

- (1)被害は局地的に激しいことから、園内をよく観察し、発生を確認したら周辺作物への飛散防止に努めながら、遅れないように薬剤防除を行う。

2. 施設野菜類の病虫害

1) ミナミキイロアザミウマ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 9月の巡回調査において、ナスでは各地域とも平年より発生面積がやや多い。
(2) 向こう1か月の気象予報から温度が高い状態が予想され、薬剤感受性低下の情報もあることから、発生は多い傾向で推移すると思われる。

対 策

- (1) 薬剤散布は、県病虫害防除指針に基づき、かけ残しのないように花や葉裏へも丁寧にかける。特にキュウリでは黄化えそ病の媒介虫であることから、初期のハウス内への侵入防止及び防除の徹底に努める。
(2) ハウスの開口部に防虫ネット等を被覆し、成虫の飛び込みを防ぐと共に、青色粘着資材の設置などにより、密度の把握及び低減に努める。

2) タバココナジラミ

予 想 発生時期:並 / 発生量:やや多

根 拠

- (1) 9月の巡回調査では、県東部のナスで発生面積及び寄生株率が高く、中央部でも寄生株率が高くなっている。
(2) 向こう1か月の気象予報からも発生の減少要因はなく、現状の多発生で推移すると思われる。

対 策

- (1) 発生初期に防除する。県病虫害防除指針に基づき、かけ残しのないよう葉裏へも丁寧にかける。特にトマトやキュウリではウイルス病を媒介することから、初期のハウス内への侵入防止及び防除の徹底に努める。
(2) ハウスの開口部に防虫ネット等を被覆し、成虫の飛び込みを防ぐと共に、黄色粘着資材の設置などにより、密度把握及び低減に努める。

3) ハスモンヨトウ

予 想 発生時期:並 / 発生量:並

根 拠

- (1) 巡回調査では、発生は平年より少なく、被害程度も軽微であった。
(2) フェロモントラップの誘殺数はいずれの調査地点でも平年より少ないが、例年この時期から発生が増加するため、今後も注意が必要である。
(3) 向こう1か月の気象予報では、降水量は平年並～やや多く、気温も平年並～高いと見込まれる

ことから、減少の要因はなく、現状かやや増加傾向での推移が予想される。

対 策

- (1) 幼虫の寄生・食害が見られたら、県病虫害防除指針に基づき薬剤を選定し、かけ残しのないように、花や葉裏へも丁寧にかける。老齢幼虫は薬剤が効きにくいいため、若齢幼虫期に防除を行う。
- (2) 開口部への防虫ネット被覆やほ場周辺の除草等の物理的・耕種的防除も有効である。

県民の皆様に提供する農作物の病虫害防除のための情報です。お気軽にご利用ください。

1. 病虫害防除所ホームページ（こうち農業ネット）：<http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/byoki/boujoshou/>

- ①病虫害発生予察月報、病虫害発生予察予報
- ②病虫害発生予察注意報、病虫害発生予察警報、病虫害発生予察特殊報
- ③病虫害発生予察技術資料
- ④新しく問題となっている病虫害 etc.

2. こうち農業ネットサービス※※当方で提供する情報の閲覧は無料です（通信料は別途必要となります）。

・携帯電話を使った病虫害関連情報（どなたでも利用可能です）

- <http://www.nogyo.tosa.pref.kochi.lg.jp/i/>（Iモード）
- トップメニュー→地域情報→タウンガイド・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ezweb）
- 四国メニュー→タウン情報・行政→高知県庁メニュー→農業情報：（ヤフー）

- ①病虫害発生予察情報（概要）